

# 尾張 1

苗字ほか	作者	掲載
尾州寺島	安通	1685年 鈴木清風編『稻筵』
尾州	投閑	1686年 筒井庄兵衛重勝板行『貞享三年歳旦集』
尾張蓬左	荷兮	1688『貞享五年歳旦集』
尾州住	浮水	1689『俳諧大三物』
尾張	東鷲	1689『俳諧大三物』
尾張	東春	1689『俳諧大三物』
尾張	浮石	1689『俳諧大三物』
尾張	幽客	1689『俳諧大三物』
尾張	心要	1689『俳諧大三物』
尾張	楊青	1689『俳諧大三物』
尾張	東吟	1689『俳諧大三物』
尾張	梅雀	1689『俳諧大三物』
尾張	梅楽	1689『俳諧大三物』
尾張之那古屋	荷兮	1689『俳諧大三物』
津島	一笑	1689 山本荷兮編『あら野』
津島	益音	1689 山本荷兮編『あら野』
津島	梭似	1689 山本荷兮編『あら野』
津島	市柳	1689 山本荷兮編『あら野』
津島	重治	1689 山本荷兮編『あら野』
鳴海	如風	1689 山本荷兮編『あら野』
津島	松下	1689 山本荷兮編『あら野』
津島	勝吉	1689 山本荷兮編『あら野』
津島	方生	1689 山本荷兮編『あら野』
津島	卜枝	1689 山本荷兮編『あら野』
津島	夢々	1689 山本荷兮編『あら野』
鳴海住	安宣	1689 吉田蘭秀（横船）編『續あはて集』
四日市	可習	1689 吉田蘭秀（横船）編『續あはて集』
四日市	駕焉	1689 吉田蘭秀（横船）編『續あはて集』
四日市	几英	1689 吉田蘭秀（横船）編『續あはて集』
四日市	几翁	1689 吉田蘭秀（横船）編『續あはて集』
尾州津島	俊似	1689 吉田蘭秀（横船）編『續あはて集』
四日市	松秀	1689 吉田蘭秀（横船）編『續あはて集』
四日市	晨笑	1689 吉田蘭秀（横船）編『續あはて集』
四日市	正延	1689 吉田蘭秀（横船）編『續あはて集』
四日市	正俊	1689 吉田蘭秀（横船）編『續あはて集』
四日市	雪洞	1689 吉田蘭秀（横船）編『續あはて集』
四日市	草也	1689 吉田蘭秀（横船）編『續あはて集』
名古屋	仁他	1689 吉田蘭秀（横船）編『續あはて集』
四日市住	霧海	1689 吉田蘭秀（横船）編『續あはて集』
四日市法蓮寺	名計	1689 吉田蘭秀（横船）編『續あはて集』
熱田	立心	1689 吉田蘭秀（横船）編『續あはて集』
尾州	越人	1690 槐本之道（調竹）編『あめ子』発句

苗字ほか	作者	掲載
尾州	越人	1690 北条団水編『俳諧秋津嶋』
尾州	後似	1690 北条団水編『俳諧秋津嶋』
尾州	心棘	1690 北条団水編『俳諧秋津嶋』
尾州	湍水	1690 北条団水編『俳諧秋津嶋』
尾州	釣雪	1690 北条団水編『俳諧秋津嶋』
尾州	梅舌	1690 北条団水編『俳諧秋津嶋』
尾州	野水	1690 北条団水編『俳諧秋津嶋』
尾陽（尾張）	越人	1690 宝井其角編『いつを昔』
尾州	流水	1690 三井秋風編『俳諧吐綬雞』
尾陽（尾張）	野水	1690 宝井其角編『いつを昔』
尾張	荷兮	1691 井筒や庄兵衛板『俳諧三物盡』
尾張	越人	1691 小杉ノ松編『西の雲』
尾張	荷兮	1691 小杉ノ松編『西の雲』
尾張	野水	1691 小杉ノ松編『西の雲』
尾州	越人	1691 島順水編『俳諧渡し船』
尾張	荷兮	1691 立花北枝編『卯辰集』
尾張	胡及	1691 立花北枝編『卯辰集』
尾張	昌碧	1691 立花北枝編『卯辰集』
尾張	旦藁	1691 立花北枝編『卯辰集』
尾張	野水	1691 立花北枝編『卯辰集』
尾州	呂丸	1691 齋部路通編『俳諧勸進蝶』
尾州	露茄	1691 齋部路通編『俳諧勸進蝶』
尾州	越人	1691 流木堂江水編『元禄百人一句』
尾張	横船（蘭秀）	1691 流木堂江水編『元禄百人一句』
尾張	荷兮	1691 流木堂江水編『元禄百人一句』
尾張	露川	1691 流木堂江水編『元禄百人一句』
尾州	野水	1691 室賀徹士編『我が庵』
尾張	羽笠	1691 去来・凡兆編『猿蓑』
尾張	芥境	1691 去来・凡兆編『猿蓑』
尾張	杉峰	1691 去来・凡兆編『猿蓑』
尾張	旦藁	1691 去来・凡兆編『猿蓑』
尾張	薄芝	1691 去来・凡兆編『猿蓑』
尾陽	越人	1692 水間沾徳編『誹林一字幽蘭集』
尾州住	野水	1692 水間沾徳編『誹林一字幽蘭集』
尾陽名護屋	如猊	1692 山本荷兮編『元禄五年尾陽歳旦』
尾州	越人	1692 双楡軒季範編『きさらき』
尾州	野水	1692 宝井其角編『雑談集』
尾張	岷水	1693 沢露川編『流川集』
尾州	不存	1694 小島宗賢・鈴村信房編『発句絵入源氏道芝』
尾州名古屋住	友我	1694 小島宗賢・鈴村信房編『発句絵入源氏道芝』
四日市	吉孝	1694 富尾似船編『絵入堀河之水』
尾州	左次	1694 宝井其角編『枯尾華』

苗字ほか	作者	掲載
四日市	吉房	1694 富尾似船編『絵入堀河之水』
四日市	吉蓮	1694 富尾似船編『絵入堀河之水』
尾州	露川	1694 宝井其角編『枯尾華』
四日市	晨笑	1694 富尾似船編『絵入堀河之水』
四日市	忠重	1694 富尾似船編『絵入堀河之水』
四日市	忠信	1694 富尾似船編『絵入堀河之水』
四日市	忠寧	1694 富尾似船編『絵入堀河之水』
四日市	釣淵	1694 富尾似船編『絵入堀河之水』
四日市	二己	1694 富尾似船編『絵入堀河之水』
尾張	戯白	1694 広瀬素牛（惟然）編『藤の実』
尾張	左次	1694 広瀬素牛（惟然）編『藤の実』
尾張	舟泉	1694 広瀬素牛（惟然）編『藤の実』
尾張	素覧	1694 広瀬素牛（惟然）編『藤の実』
尾張	鼠弾	1694 広瀬素牛（惟然）編『藤の実』
尾張	礼春	1694 広瀬素牛（惟然）編『藤の実』
尾張	露川	1694 広瀬素牛（惟然）編『藤の実』
尾州	荷兮	1694 島順水編『俳諧童子教』発句
池鯉鮒	猶水	1694 島順水編『俳諧童子教』発句
尾陽	越人	1694 向井去来著『不玉宛去来論書』
尾州	長利	1694 小中南水・玉置安之編『熊野からす』発句
尾州	和濤	1695 日野文車編『俳諧花蔀』
尾州	素覧	1695 浪化編『ありそ海・となみ山』
尾張	左次	1695 近藤知行編『後の旅集』
尾州	露川	1695 浪化編『ありそ海・となみ山』
尾陽	夕道	1695 近藤知行編『後の旅集』
尾張	鼠弾	1695 近藤知行編『後の旅集』
尾張	巴丈	1695 近藤知行編『後の旅集』
尾陽	衣吹	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	一狐	1695 睡間編『やはき堤』
津島	一笑	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	凹山	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	蘭秀（横船）	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	荷兮	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	菊芳	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	順文	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	左次	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	犀角	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	捨石	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	周海	1695 睡間編『やはき堤』
尾州板山	如山	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	松翁	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	松醒	1695 睡間編『やはき堤』

## 尾張 2

---

苗字ほか	作者	掲載
尾陽	千声	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	素寛	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	鼠弾	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	直全	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	杜旭	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	巴丈	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	斧芥	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽亀崎	ト志	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	卍春	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	友也	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	勇和	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	露川	1695 睡間編『やはき堤』
尾陽	和泉	1695 睡間編『やはき堤』
熱田 (アツタ) ノ住	湘水	1695 杜旭編『ゆすり物』
尾州	越人	1695 梅原和海編『鳥羽蓮花』
尾張	露川	1695 近藤知行編『後の旅集』
津島	都梨	1696 坂上稲丸編『誹諧呉服綱』
津島	白木	1696 坂上稲丸編『誹諧呉服綱』
津島	末学	1696 坂上稲丸編『誹諧呉服綱』
津島	一笑	1696 古田可吟編『浮世のきた』
富田	拳有	1696 古田可吟編『浮世のきた』
尾州	如山	1696 古田可吟編『浮世のきた』
熱田 (アツタ)	湘水	1696 古田可吟編『浮世のきた』
尾州	ト志	1696 古田可吟編『浮世のきた』
鳴海	知足	1696 室賀轍士編『元禄拾遺』
津島	一笑	1696 坂上稲丸編『誹諧呉服綱』
名古屋	露川	1696 室賀轍士編『元禄拾遺』